

全 國

商工新聞

長岡版

発行編集 長岡民主商工会
長岡市中沢町一六七一
〇二五八・三三・五九四八

2020年
5月18日
第2004号

● 皆の苦渋の休業を無駄にしないためにも、個人でも手洗いや咳エチケットの励行で感染予防しましょう。

制度を積極的に活用し 長期戦を乗り切りましょう

新型コロナウイルス感染症防止のための「5月7日以降の緊急事態宣言の延長」引き続きの営業自粛要請「もあり、民商にはさまざまな声が寄せられています。」県内の自治体発注の建設工事では「仕事でいったん東京などへ行った人は県内に戻ってから2週間は現場に入れないように」と指示が出ており、人の手配が間に合わない「人が出せず東京の現場から工事遅延の補償を求められたが元請からは出せないと言われた」など、また「助成金申請しないと資金繰りが厳しいが、1回きりの助成では足りない」「生活資金を節約しても今月の運転資金が足りない。申請して1か月先に100万もらうより1週間先に20万欲しい」など切実な声が多くなっています。

長岡民商では今回別紙で

「新型コロナウイルス感染症関連の生活福祉

資金・給付金・助成金」

を作成し商工新聞やこの長岡版とともに配布しています。(前回の5月11日付新聞では「特別融資・信用保証一覽」を配布しました。)ぜひ読んでいただき、自分が対象になるものがあれば申請を検討しましょう。ただし、この制度も申請できるのは現在のところ各々1回だけの為、例えば持続化給付金では売上が減少した月を何月とするか、など慎重に選ぶ必要があります。また各々の制度は申請方法や要件など随時変更され、今後変わる可能性があります。不明な点あれば民商「に」相談ください。



「コロナ便乗詐欺」に注意！

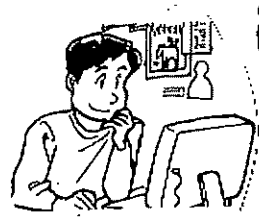
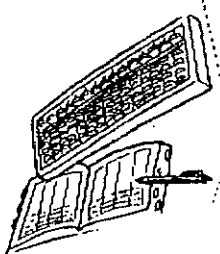
今後、申請をする方が増えてくるかと思いますが、手続きの大変さや申請書類の多さから、いつもは「この話はあやしい」と不審電話に警戒する人でも、「申請にかかわる問い合わせかな」と思って安易に銀行口座や生年月日、申請に係るパスワードなどを答えてしまう場合があります。どんなに緊急でも、厚生労働省や申請先から電話で重要な数字や個人情報聞いてくる事はありません。また「申請を代行します」などの電話もウソです。気をつけるようにしましょう。

「この機会に」記帳を習慣づけましょう！

今回のコロナ感染症に係る助成金・給付金関係の申請には、昨年の確定申告の資料や、今年の各月の売上など、「明確な数字」が求められています。また、来年の確定申告では、今年の動きを受けて、どういった数字を求められるかわかりません。

今回申請を考えている人はもちろんですが、そうでない方も、「自分の商売に自信を持つ」「課題がはっきりする」など、記帳するといいいことが多くあります。今まで確定申告前にあわてて一年分の売上・仕入・経費をまとめていた方も、この機会に毎月記帳・毎日記帳を心掛けるようにしましょう。

必要であれば民商事務局にある「自主申告の計算シート(毎年会員に配布しているものと同じもの)」をおおかけください。「ご連絡ください」。



(労働保険事務委託されている事業所の方へ)

雇用保険に関わる連絡は早め「に」

コロナ感染症に係る動きが急でどの会員も忙しくされていると思いますが、「いついつと来たからこそ人の採用・退職といった雇用保険に関わる手続きは本人の不利にならないよう速やかに行う必要があります。人の動きがあった場合は間を空けず事務局へ連絡をお願いします。